

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2 年 7 月 1 日

事業所名 あすなろ花川北

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>				利用人数が多い時は狭いと感じる為、外出等で活動内容を工夫しています
	② 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			<input type="radio"/>		建物の構造上、バリアフリーに対応しておりません。備品のレイアウトなどで工夫をしています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>				保護者アンケートを実施し、結果をスタッフ間で共有しながら改善していくよう努めています
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>				事業所以外の職員に評価してもらっています
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>				外部研修への参加や、毎月社内研修を行い資質向上に努めています
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>				プログラムの担当者がスタッフと意見を出し合い立案しています
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>				プログラム内容については毎月バリエーションを増やし工夫しています
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>				毎月イベントを計画し、活動目標のもと取り組んでいます
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>				保護者様からのニーズや状況を見ながら作成しています。利用人数の多い時には個別が難しいこともある為、改善が必要と考えています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>				毎日行っています
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>				毎日行っています
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>				システムを導入し記録しています
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				定期的にモニタリングを行い、スタッフ間で共有し話し合いを行っています
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>				スタッフミーティングで話し合い、計画をたてて行っています

関係機関や保護者との連携	⑯ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>			学校からお便りや時間割をいただき情報交流を行っている
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		現在、受け入れを行っておりません
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			新規利用前には必ず連絡を取り合い情報共有をしています
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		現在、該当する児童の利用はありません
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		民間施設利用時に交流する機会はありますが、それほど多くはありません
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			支援記録や連絡ノート、送迎時に共有しています
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている			<input type="radio"/>	現在はあまり行っていません。学習会等に参加し、支援の機会を設けていきたいと考えています。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			契約時には必ず説明を行っています
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			面談や連絡ノート、電話やメール等を活用して適切に対応しています
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>			親子イベントを開催したり、茶話会の開催も考えています
保護者への説明責任等	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			マニュアルを活用し、臨機応変に対応しています
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			毎月発行しています
	㉟ 個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			
	㉞ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		親子イベント招待、ボランティア受入れをしていますが、今後も改善は必要と考えています
	㉞ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>			社内研修時に用いて周知するようにしている。
	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>			毎年定期的に避難訓練を実施している

非常時等の対応	⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			外部研修への参加や、社内研修を行っている
	⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		<input type="radio"/>		現在該当するケースはありません。
	⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>			保護者様からの情報を事業所内で共有し対応している
	⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			社内研修時に用いて周知するようにしている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。